

新まちづくり計画 ( H16 ~ 18 ) 事業総括調書

施策体系コード	3-3-2	3-3-3	4-2-4	事業名	ウィンタースポーツフェスタin大倉山
担当	中央区市民部地域振興課地域活動担当 山澤 231 - 2400 (256)				
全体計画 ( 当初 )					
事業内容	雪国札幌の豊かな自然環境と世界に誇る大倉山ジャンプ競技場を遊び場として利用し、中央区と中央区体育指導委員会、地元連合町内会や地域住民ボランティアと協働して、多くの親子や観光客が集う冬の屋外スポーツ・レクリエーションとして展開する。		<年度別の事業内容>		
	<具体的事業内容> ランディングバーン・チューブ滑り Satz階段ツアー 宝さがしゲーム 雪遊びコーナー 雪中サッカー大会 フラッグダッシュ 2007年FISノルディック世界選手権札幌大会関連PR <会場など> 大倉山ジャンプ競技場 2月中旬の土日2日間		平成16年度 開催日数を2日間に拡大  平成17年度 開催日数は2日間を維持し、PRを拡大・充実させることにより集客数の増加を図る。また、協働スタッフについても地域住民の協力の拡大を図る。次年度に開催が迫ったノルディック大会のPRも充実させていく。  平成18年度 開催日数は2日間を維持し、事業内容のリフレッシュを行い、さらに集客数の増加を図る。		
事業内容 ( 量・場所・規模等 )	平成16年度事業内容 ( 決算 )			平成17年度事業内容 ( 決算 )	
	<日時> 平成17年2月19日(土)・20日(日)の2日間で開催 <会場> 大倉山ジャンプ競技場 <実施コーナーと参加者数(2日間合計)> チューブ滑り 710名 階段ツアー 80名 雪中サッカー 270名 雪遊びコーナー 370名 フラッグダッシュ 190名 宝さがし 180名 この他、お汁粉サービス 1,000名 ノルディックPRピンバッジ配布 500名 <スタッフ数> 区職員、地域住民、ボランティア 2日間合計 のべ177名			<日時> 平成18年2月18日(土)・19日(日)の2日間で開催 <会場> 大倉山ジャンプ競技場 <実施コーナーと参加者数(2日間合計)> チューブ滑り 2,109名 階段ツアー 140名 雪中スポーツ大会 1,238名 雪遊びコーナー 410名 宝さがしゲーム 369名 この他、お汁粉サービス 1,200名 ノルディックPRバッジ配布 500名 日ハムチケット配布 800名 等 <スタッフ数> 区職員、地域住民、ボランティア 2日間合計 のべ188名	
事業内容 ( 量・場所・規模等 )	平成18年度事業内容 ( 決算 )			評価 ( 成果 )	
	<日時> 平成19年2月10日(土)、11日(日)の2日間で開催 <会場> 大倉山ジャンプ競技場 <実施コーナーと参加者数(2日間合計)> チューブ滑り 1,878名 階段ツアー 120名 ストラックアウト 690名 雪遊びコーナー 381名 宝さがし 523名 お汁粉サービス 1,600名 ノルディック札幌大会PRグッズ配布 1,510名 <スタッフ数> 区職員、地域住民、ボランティア 2日間合計 のべ193名			ジャンプ台の設備を真近で見たり、体感してもらうことで、競技のダイナミックさや凄さを実感してもらい、冬の代表的スポーツであるジャンプへの関心を高めることができた。参加者に冬のレクリエーションを体験させることで、楽しさを実感してもらい、外遊びへの関心を高めることができた。ノルディックスキー世界選手権大会で使用される会場において啓発活動を行うことにより、開催に向けた機運を醸成することができた。町内会を始めとし、多くの学生やボランティアに運営に携わってもらい、地域や世代間の交流・連帯を深めることができた。	
課題					
・ジャンプ台を使い、さらなる冬のスポーツへの関心を高める事業を検討する。 ・地域住民を始めとするボランティア参加の拡大、募集方法の再検討を行う。 ・庁内はもとより、民間を含めた関係機関等との連携のうえ、新たなPR方法を創出する。					
19年度以降の方向性・事業の予定					
平成19年度以降においても、平成18年度までと同様、家にこもりがちな冬期間のスポーツ活動や外遊びの機会を提供し、区民の健康増進と交流の推進を図ることを目的とし、事業を継続して行うこととする。今までの事業内容について再検討を加えらるとともに、新たな内容も創出していく。また、ボランティアの募集方法やPR方法などもより効果的な方法を検討していく。 <内容> チューブすべり(ランディングバーンをチューブで滑走) Satz階段ツアー(ランディングバーン横の階段のぼり) 雪中スポーツ大会(ストラックアウト・キックターゲット等) 宝さがしゲーム(雪に埋めた宝を雪まみれになって探す) 雪遊びコーナー(幼児を対象とした、そりすべり等の雪遊び) 各イベントの詳細は企画運営会議により随時内容を検討のうえ決定する <事業の形態> 中央区、中央区体育指導委員会、町内会、青少年育成委員会を中心とした実行委員会形式とし、イカダ下りを愛する会、学生ボランティア、子育てボランティアなど、広く市民との協働体制で企画・運営する <スケジュール> 毎年2月中旬の日曜日1日間を予定					

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 （単位：千円）

施策体系コード	3-3-2	3-3-3	4-2-4	事業名	ウィンタースポーツフェスタin大倉山
---------	-------	-------	-------	-----	--------------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	1,500	1,750	1,750	5,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他				0	-
	一般財源	1,500	1,750	1,750	5,000	-
実績	事業費	1,110	1,975	1,979	5,064	101.3
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
	一般財源	1,110	1,975	1,979	5,064	-

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

[16年度] 事業費については、「区のふれあい街づくり事業費」から支出した。  
 [17年度] 施設使用料の減免廃止による事業費の増  
 [18年度] 施設使用料の減免廃止による事業費の増

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 （現状）	16年度末 （実績）	17年度末 （実績）	18年度末 （実績）	18年度末 （目標）

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨	枠内外	16年度	17年度	18年度	計
区のふれあいまちづくり事業費	臨時	枠外	1,110			1,110
ウィンタースポーツフェスタin大倉山事業費	臨時	枠外		1,975	1,979	3,954
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			1,110	1,975	1,979	5,064